

### 目次

- 1 高次脳機能障害を学ぼう
- 第3回 注意障害とは

## 高次脳機能障がいを学ぼう

### 第3回 注意障害とは？

高次脳機能障害の注意障害は大きく分けると全般性注意障害と方向性注意障害に分けることができます。今回は全般性注意障害について紹介いたします。

全般性注意障害はさらに4つに分けることができます。

#### ○持続性注意（続ける力）

ある対象に一定以上の注意を向け続ける力です。

症状：50分の授業に集中できない、考え事をするとすぐ疲れてしまう、能力はあるのに作業の達成度にムラがある、映画を見続けることができず眠ってしまう。など

#### ○選択性注意（見つける力）

多くの情報の中から必要な情報だけを見つけ出す力です。

症状：人ごみでは人が歩く流れにうまく乗れなかつたり疲れやすくなる、会議で複数の人が同時に話していると話を聞くことができない、商品がたくさん並んでいる棚から欲しいものを探して選ぶことができない。など

#### ○転導性注意（別のことに注意を切り換える力）

ある対象に向いている注意をスムーズに別の対象に向ける力です。

症状：すでに次の話題に移っているのにひとつ前の話について発言をする、作業中に話しかけられてもすぐに反応できず返事が遅れてしまう、作業をしている時には指示をされても今行っている作業にこだわって切り換えられない。など

#### ○注意の分配（複数のことに同時に注意を向ける力）

複数の対象に同時に注意を向ける力です。

症状：電話をしながらメモを取ることができない、餃子を焼きながらお皿を洗っていると餃子を焦がしてしまう、洗濯機を回しながら掃除をしていると洗濯をしていたことを忘れてしまう、

このような症状が起こりますが、よく考えてみると疲れているときや寝不足の時に同様の経験をしたことがある方もいるのではないのでしょうか？注意障害があると普段からそのような状態が続いていて、何だかうまくいかなくなっているとも考えることもできるかもしれません。

まずはどの機能が低下しているかを確認することが支援の第一歩になります。判断できない場合は一度専門機関に相談してみてもいいでしょうか？もちろんリハセンターでも相談を受け付けています。

お近くの相談できる機関については[こちら](#)で検索してみてください。

次回は遂行機能障害についてお話しします。



クリスマスシーズン到来！！